

ロボットとは違い、少額の投資からスタートできるメリット大 「既存設備の延長線上で自動化を追求する姿勢にも好感」

夜間の無人稼働で高い効果を期待

技術部の佐々木主任技師は「2022年のことから、販売間もないワークハンドリングホルダのテスト依頼を賜った。ロボットに代わって、ワークを自動交換するという新たな提案で、弊社でも自動化の検討を進めていた



ワークハンドリングホルダの可能性を追求する

前号(6面)に掲載した、医療や半導体分野などで活躍する小林精機では、ワークが人から不足への対応としてアビルしている「ワークハンドリングホルダ」の活用も図っている。

時期とも重なり、お勤けすることにしたと説明する。設定された課題は「多品種少量の現場で、いかに効率よく自動化を実現できるか」。

「初期投資として、ロボット導入は費用の点でハードルが高いが、ワークハンドリングホルダは、少額で対応できる。しかも人の単純作業からの解放という、現場の効率的な運営にも期待できるばかりか、加工機内の自動化が可能なら、今ある設備の延長線上

**4回
載せ替えて
1日20時間
稼働達成**

る魅力を感じている」との評価のもと、どのように使うか、使えぬか。トライアルを繰り返すなか、2023年から、素材(30×30×50を「旋盤用」専用治具にセットするための加工に活用することにした。

ロット数500個のほぼ、自動化の感触を掴みつつ、テストを終えるも、本格運用では、インクジェットプリンタ関連部

品、月産2000個への対応としてワークハンドリングホルダを適用することにした。

どのように使えるか、ブラザー工業製スピーディオでテスト。本格導入ではプリンタ関連部品「2000個/月」に適用。1パレット30個搭載、所要時間は5時間弱。



ワークを手に持つ佐々木主任技師

**マシニングセンタが
使える現場なら
「敷居は高くない」**

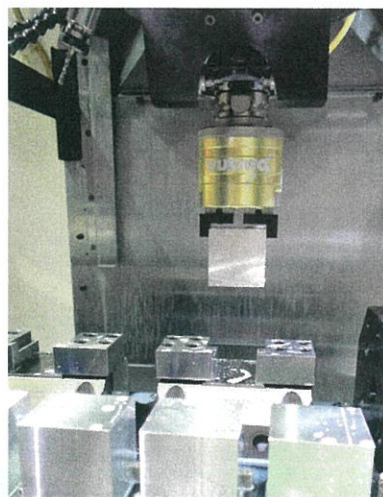
に位置づけられている点にも興味を覚えた。マシニングセンタが使える現場なら、そのブロックで動かせるため複雑なロボット制御の知識は不要と言ったのも利点だろう。

佐々木主任技師が、テスト対応に選んだのは、ブラザー工業のスピーディオ「S700X1N」。

検証・ユーザー第二号 小林精機(岩手県・滝沢市)
ワークの自動交換に貢献する「ワークハンドリングホルダ」 佐々木主任技師に聞く

5年後の加工は、きっとこうなる。

GOOD DESIGN
ワークハンドリングホルダ



**中小企業の方は必見!
人手不足の解消に!**

- 少ない投資で、自動化が可能。
- 機内に設置したストッカーからホルダでワークを自動交換。
- ワーク内径把握用/外径把握用あり。



YUKIWA ユキワ精工株式会社

本社・工場 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、USA

<https://www.yukiwa.co.jp/>
ワークハンドリングホルダー



▲動画(YouTube)



▲カタログ